

ヘルスサポート事業における今後の活動について

1. 運営委員会における今後の検討事項

① 第1期データヘルス計画の振り返りと評価

- 第1期データヘルス計画の計画期間が終了するにあたり、保険者等が実施した個別保健事業が第1期計画に基づき実行されたか、第1期計画で設定された目的・目標が達成されたかを確認する。
- その方法として、市町村国保、国保組合、広域連合が策定した第1期データヘルス計画の目的・目標とその達成状況・達成/未達の要因、第1期計画についての評価体制や評価時期、自己評価結果をアンケート調査で確認する。
- また、平成29年度は第2期データヘルス計画の策定期間であるため、第2期計画に盛り込んだ内容(見直し内容等を含む)、第1期計画の評価結果を第2期計画にどのようにつなげたかについて確認する。
- これらを踏まえ、データヘルス計画を策定したことの効果、PDCA サイクルに沿った保健事業となっているかについて評価し、第2期に向けての視点を整理する。

② 個別保健事業を円滑に進めるための仕組みの検討

- ヘルスサポート事業の中で、支援・評価委員の助言により、保険者等は新たな気づきを得て、個別保健事業を進めるにあたっての不明点の解消や課題解決につなげることができてきた。
- 支援・評価委員会の委員の助言に資するよう、全国各地で取組まれている保健事業の様々な工夫点やノウハウを蓄積し、提供する等、個別保健事業が円滑に実施されることを後押しする仕組みの検討の必要がある。

2. 具体的な進め方

① 第1期データヘルス計画の振り返りと評価

- 市町村国保、国保組合、広域連合にて策定した第1期データヘルス計画の評価結果、第2期に向けての見直し内容等を把握する「データヘルス計画実態調査(仮)」を行う。

時期	実施事項
平成29年度	「データヘルス計画実態調査(仮)」の実施方法、対象、調査項目検討
平成30年度	「データヘルス計画実態調査(仮)」の実施、集計、結果の考察

② 個別保健事業を円滑に進めるための仕組みの検討

- 各都道府県の支援・評価委員会が保険者等における個別保健事業を助言・支援するにあたり、効果的と思われる仕組み等を平成29、30年度に検討する。